

**作業療法学科・理学療法学科
共通授業科目**

2026年度 多摩リハビリテーション学院専門学校

| 学科 | 履修対象 | 履修時期 | 授業の方法 |
|-----------------------|---|-------|------------|
| 作業療法学科 理学療法学科 | 1 学年 | 前期 | 講義 |
| 講義区分 | 授業科目名 | 担当教員 | 単位・時間数 |
| 基礎分野 | 統計学 | 石岡 綾香 | 2 単位・30 時間 |
| 授業の概要 (授業の目的) | 論文を読んだりデータ収集を行なう際に、示されたデータから有効な情報を引き出せるようになるために、統計学の基本的な手法を習得する。 | | |
| 授業の到達目標 (学生の行動目標) | 統計学の基礎を理解し、目的に応じて適切な手法でデータを解析し、得られた結果を正しく解釈することができる。 | | |
| 授業計画 | 第 1 回 オリエンテーション 第 2 回 変数とデータ, 尺度水準 第 3 回 度数分布, 代表値 第 4 回 散布度, 標準化 第 5 回 散布図, 共分散 第 6 回 相関係数 第 7 回 中間試験 第 8 回 母集団と標本, 母集団の分布 第 9 回 正規分布, 標本分布 第 10 回 母数の推定, 不偏分散 第 11 回 統計的仮説検定の考え方, 有意水準 第 12 回 t 検定, 両側検定と片側検定 第 13 回 第 1 種の過誤と第 2 種の過誤, 信頼性と妥当性 第 14 回 授業理解度の確認 第 15 回 定期試験 まとめ | | |
| 教科書 | 授業毎に資料を配布します | | |
| 参考書 | 山田剛史・村井潤一郎 (2004) よくわかる心理統計 (ミネルヴァ書房) 2,800 円+税 | | |
| 成績評価の方法・基準 | 講義を中心に、演習 (データを実際に使った計算) も取り入れます | | |
| 授業の留意点・授業外の 学習活動など | 中間試験 50%, 定期試験 50% | | |
| 教員紹介 | 心理学を専門に研究。心理学の研究には客観的根拠・論証が必要です。そのため心理学では客観的根拠を示す手段として統計学が重要な部分になってきます。統計学の基礎的なところを理解できるように分かりやすく講義します。 | | |

2026年度 多摩リハビリテーション学院専門学校

| 学科 | 履修対象 | 履修時期 | 授業の方法 |
|----------------------|--|-------|------------|
| 作業・理学療法学科 | 1 学年 | 前期 | 講義 |
| 講義区分 | 授業科目名 | 担当教員 | 単位・時間数 |
| 基礎科目 | 心理学概論 | 藤枝 幹大 | 2 単位・30 時間 |
| 授業の概要 (授業の目的) | 人間のさまざまな反応や行動の仕組みを概観し、客観的・科学的な視点を身につけつつ、人間の「心」とは何かを理解していく。 | | |
| 授業の到達目標 (学生の行動目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・心理学がどのような学問かを説明できる。 ・心理学の方法論を説明できる。 ・各心理学用語を説明できる。 ・日常の人間行動について心理学用語を用いて表現できる。 | | |
| 授業計画 | <p>授業は主に心理学用語の説明になります。そうした抽象的な専門用語に触れて、学術的な言葉づかいに慣れていってください。</p> <p>第1回 心理学の歴史 第2回 科学の特質 心理学の方法 第3回 感覚・知覚・認知 刺激と感覚 第4回 視覚 第5回 知覚の特性 運動の知覚 第6回 学習 古典的条件づけ 第7回 オペラント条件づけ 第8回 技能学習 第9回 記憶の構成 第10回 記憶の保持と忘却 第11回 思考 言語 第12回 要求 感情 第13回 性格 知能 第14回 社会 第15回 定期試験</p> | | |
| 教科書 | 鹿取廣人／杉本敏夫／鳥居修晃／河内十郎 [編] 『心理学 [第5版補訂版]』 東京大学出版会 2,400 円＋税 | | |
| 参考書 | 詫摩武俊(編)『心理学 [改訂版]』新曜社 1,700 円 長谷川寿一／東條正城／大島尚／丹野義彦／廣中直行 [著]『はじめて 出会う心理学』 有斐閣アルマ 2,000 円＋税 | | |
| 成績評価の方法・基準 | 定期試験 (100%) | | |
| 授業の留意点・授業外の学習活動など | これまではあまり意識してこなかった自分の行動を振り返って、そこに注意を向けてみましょう。同時に、他者に対する気配りを心がけてください。 | | |
| 教員紹介 | 心理学修士の学位と臨床心理士と公認心理師の資格を持ち、心理学の様々な分野の講義歴は 30 年以上、心理臨床経験は 25 年以上になります。 | | |

2026年度 多摩リハビリテーション学院専門学校

| 学科 | 履修対象 | 履修時期 | 授業の方法 |
|-----------------------|---|--------|------------|
| 作業療法学科 理学療法学科 | 1 学年 | 前期 | 講義 |
| 講義区分 | 授業科目名 | 担当教員 | 単位・時間数 |
| 基礎分野 | 生物学 | 吉村 慎太郎 | 2 単位・30 時間 |
| 授業の概要 (授業の目的) | 基礎医学（生理学・解剖学など）の理解を深めるために、生物学の知識と視点を学ぶ。 | | |
| 授業の到達目標 (学生の行動目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・医療に必要なからだの仕組みを理解する。 ・社会において話題になっている医療テーマを知り、その説明ができる。 ・これからの医療の在り方や可能性を感じる。 | | |
| 授業計画 | <p>いまの医療に必要な知識や問題点を「生物学」の視点から講義してゆきます。基礎医学（生理・解剖など）の理解を深めるために、話題になっている医療をテーマに解説します。また、高校在学時に生物を未履修の学生でも理解できるように、視覚的にも多面的にも講義します。</p> <p>第1回 「ガイダンス」「生命現象」について 第2回 「細胞 ～DNA と RNA～」 第3回 「遺伝子組み換え工学 ～遺伝子治療～」 第4回 「感染症と免疫」 第5回 「膜電位」と「脳内神経伝達物質」 第6回 「脳と記憶」 第7回 「高次脳機能障害とアルツハイマー」 第8回 「筋とスポーツ」 第9回 「骨と加齢 ～骨粗鬆症～」 第10回 「脳死と臓器移植」 第11回 「ホルモンとドーピング」 第12回 「発生と生殖工学 ～iPS 細胞～」 第13回 「神経症、DV、性同一性障害」 第14回 「医学における生物学 ～遺伝と進化～」 授業の総括 第15回 定期試験</p> | | |
| 教科書 | 八杉貞雄著：ヒトを理解するための生物学改訂版（裳華房） | | |
| 参考書 | 八杉貞雄 監訳：初歩から学ぶヒトの生物学（東京化学同人）2,700 円+税 | | |
| 成績評価の方法・基準 | 定期試験 100% 定期試験は持ち込み不可 | | |
| 授業の留意点・授業外の 学習活動など | 授業内容に学生側からの希望があれば、変更や入れ替えを行うことがあります。 意見、希望や質問を積極的に出して欲しいです。 | | |
| 教員紹介 | 基礎医学の分野において「対ガン治療」や「脳の性分化」についての研究に従事していました。基礎医学の視点から生物学を考えます。 | | |

2026年度 多摩リハビリテーション学院専門学校

| 学科 | 履修対象 | 履修時期 | 授業の方法 |
|----------------------|--|--------|------------|
| 作業療法学科 理学療法学科 | 1 学年 | 前期 | 講義 |
| 講義区分 | 授業科目名 | 担当教員 | 単位・時間数 |
| 基礎分野 | 医学英語 | 大城 恵理華 | 2 単位・30 時間 |
| 授業の概要 (授業の目的) | カルテに使用されるようなある程度の専門用語を理解する。 リハビリテーションの場面での基本的な英会話表現を身につける。 コミュニケーションの正解は 1 つではないので、状況に応じた配慮ある表現を共に考察していく。 | | |
| 授業の到達目標 (学生の行動目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・英語での専門的な言い回しに慣れ、辞書を活用しながら読解できるようになる。 ・院内の会話の頻出語を理解し、肯定、疑問、否定の表現ができるようになる。 ・完璧である必要はないが、自分なりの思い遣りある伝え方ができるようになる | | |
| 授業計画 | 第 1 回: ガイダンス、アンケート、レベルチェック (成績には入れず) 第 2 回: 挨拶 Lesson 1 を中心に 第 3 回: 問診 Lesson 2～3 を中心に 第 4 回: 問診 Lesson 3～4 を中心に 第 5 回: 肢位設定 Lesson 5～6 を中心に 第 6 回: 評価 Lesson 7 バイタルチェックを中心に 第 7 回: 評価 Lesson 8～9 自動・他動可動域の測定を中心に 第 8 回: 評価 Lesson 10～11 体幹・頸部の可動域の測定を中心に 第 9 回: ADL Lesson 18 移乗動作を中心に 第 10 回: ADL Lesson 14～15 バランス検査・歩行評価を中心に 第 11 回: 環境調整 Lesson 20 歩行補助具を中心に 第 12 回: 環境調整 Lesson 21 トイレの使用を中心に 第 13 回: 退院 Lesson 22 退院後の生活指導を中心に 第 14 回: 前期の総括 第 15 回: 期末試験 (小テストの例文から抜粋する、ただし出題形式は変える) | | |
| 教科書 | 『PT・OT が書いたリハビリテーション英会話』Medical View 社 ¥2,400 | | |
| 参考書 | 随時、授業資料を配付する | | |
| 成績評価の方法・基準 | 小テスト 50%、期末試験 50% | | |
| 授業の留意点・授業外の学習活動など | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書は全文を扱うわけではなく重要な箇所を中心に扱います。 ・授業での会話の音読やディスカッションには積極的に参加してください。 ・小テストの日に欠席した場合は公欠でない限り追試は実施しないので遅刻や欠席をしないように気を付けてください。 | | |
| 教員紹介 | 高齢者介護では特養老人ホームにて介護スタッフとして 3 年間勤務、祖父と実母の在宅介護も 3 年ほどしましたが、作業療法・理学療法の分野は全く未知なので、1 年生の方々と一緒に 1 つ 1 つ学ばせていただきます。 学生時代はアメリカ文学を専攻しておりました。 非常勤講師としては短大、大学にて英検・TOEIC などの資格試験対策、アメリカ文学講読などの授業を担当し、看護専門学校では 1～2 年生の臨床英会話を担当して現在に至ります。 | | |

2026年度 多摩リハビリテーション学院専門学校

| 学科 | 履修対象 | 履修時期 | 授業の方法 |
|----------------------|--|------|------------|
| 作業療法学科 理学療法学科 | 1 学年 | 後期 | 講義 |
| 講義区分 | 授業科目名 | 担当教員 | 単位・時間数 |
| 専門科目 | 人間発達学 | 福島和郎 | 2 単位・30 時間 |
| 授業の概要 (授業の目的) | <ul style="list-style-type: none"> ・人の心や身体の発達段階の特徴を総合的に理解する。 ・これまでの人間発達を振り返り、今後の人間発達を考察する。 ・人間発達学的見地から、人の身体・認知・心の状態を理解する。 | | |
| 授業の到達目標 (学生の行動目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・代表的な発達理論を理解できる。 ・身体発達、認知発達、自我発達（価値観、道徳観）等の観点から、人の発達段階の特徴を総合的に把握できる。 | | |
| 授業計画 | 第 1 回：人間発達概念、人間発達の外観 第 2 回：代表的な発達理論、各発達段階の特徴 第 3 回：胎生期 第 4 回：乳児期の身体発達 第 5 回：原始反射と姿勢反射 第 6 回：乳児期の認知と情緒の発達 第 7 回：確認テスト、前半のまとめ 第 8 回：幼児前期 第 9 回：幼児後期 第 10 回：発達障害（ASD、ADHD、SLD）と定型発達 第 11 回：児童期 第 12 回：青年期 第 13 回：成人期（成人前期・中期） 第 14 回：老年期（成人後期） 第 15 回：講義内容の総括 最終試験 | | |
| 教科書 | 福田恵美子（編著）：『コメディカルのための専門基礎分野テキスト 人間発達学』〔改訂第 6 版〕 中外医学社、2,860 円 | | |
| 参考書 | 岩崎清隆・花熊暁・吉松靖文（共著）：『標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 人間発達学』医学書院、5,720 円 | | |
| 成績評価の方法・基準 | 最終試験（90%）、確認テストまたはレポート（10%） | | |
| 授業の留意点・授業外の学習活動など | 講義形式で毎回プリントを配布し、これにポイントを記入してもらい授業を展開し、人間発達の振り返りや今後の展望について考察いただきます。復習を確実にし、学修内容を自己理解と他者（患者）理解に役立ててください。なお、注意を受けても私語をやめない学生の評価は減じます。 | | |
| 教員紹介 | 複数の教育機関で講師を務め、病院併設の研究機関で精神障害者の治療と検査開発にあたり、精神障害者グループホーム等で臨床実践を行ってきました。発達段階を考慮した対人援助のあり方についても講義します。 | | |

2026年度 多摩リハビリテーション学院専門学校

| 学科 | 履修対象 | 履修時期 | 授業の方法 |
|-----------------------|--|-------|------------|
| 作業療法学科 理学療法学科 | 1 学年 | 前期 | 講義 |
| 講義区分 | 授業科目名 | 担当教員 | 単位・時間数 |
| 専門基礎分野 | 解剖学 I | 島田 和幸 | 2 単位・30 時間 |
| 授業の概要 (授業の目的) | 解剖学を学ぶことで、人体の構造を理解する。 | | |
| 授業の到達目標 (学生の行動目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・細胞や組織の名称、特徴を説明できる。 ・上肢・下肢の骨の名称や構造、特徴を説明できる。 ・上肢・下肢の骨の靭帯・筋の名称、構造（起始・停止を含む）、特徴を説明できる。 ・上肢・下肢の骨の筋の支配神経を説明できる。 | | |
| 授業計画 | <p>第 1 回：解剖学総論 I 第 2 回：解剖学総論 II 第 3 回：解剖学総論 III 第 4 回：骨学総論及び各論 I 第 5 回：骨学各論 I 第 6 回：骨学各論 II 第 7 回：骨学各論 III 第 8 回：骨学各論 IV 第 9 回：関節と靭帯 第 10 回：筋学総論及び各論 I 第 11 回：筋学 I、II 第 12 回：筋学 III 第 13 回：筋学 IV 第 14 回：総復習 第 15 回：定期試験</p> <p>※基本的には島田先生ご担当ですが、途中、学科教員が担当することもあります。</p> | | |
| 教科書 | 野村巖 編「標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 解剖学 第 5 版」 医学書院 6,000 円+税 | | |
| 参考書 | 渡辺正仁 監「PT・OT・STのための解剖学」廣川書店 6,380 円（税込） 坂井健雄 監「PT・OT ビジュアルテキスト専門基礎 解剖学」羊土社 6,160 円（税込） 小室正人、菊田彰夫、中村陽市 監「国家試験完全クリア やさしい解剖学」医歯薬出版 4,180 円（税込） | | |
| 成績評価の方法・基準 | 定期試験 持ち込みは不可。 | | |
| 授業の留意点・授業外の 学習活動など | 真摯（まじめ）に取り組み、学んでいただきたい。 | | |
| 教員紹介 | 島田和幸先生は死体解剖資格を持ち、解剖学では約 40 年の教育経験があります。 現在は、鹿児島大学名誉教授、東京医科大学・日本歯科大学・東京都立大学客員 教授、横浜市立大学・日本大学非常勤講師としてもご活躍されています。 本校が、日本大学医学部で予定している解剖学見学実習でお世話になります。 | | |

2026年度 多摩リハビリテーション学院専門学校

| 学科 | 履修対象 | 履修時期 | 授業の方法 |
|-----------------------|---|-------|------------|
| 作業療法学 理学療法学 | 1 学年 | 後期 | 講義 |
| 講義区分 | 授業科目名 | 担当教員 | 単位・時間数 |
| 専門基礎分野 | 解剖学Ⅱ | 島田 和幸 | 2 単位・30 時間 |
| 授業の概要 (授業の目的) | 解剖学を学ぶことで、人体の構造を理解する。 | | |
| 授業の到達目標 (学生の行動目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・体幹の骨・靭帯・筋・支配神経を説明できる。 ・中枢神経の名称、構造、特徴を説明できる。 ・感覚器官の名称、構造、特徴を説明できる。 ・脈管系（心臓・血管）の名称や構造、特徴を説明できる。 ・内蔵器官の名称、構造、特徴を説明できる。 | | |
| 授業計画 | 第 1 回：神経系総論 末梢神経 第 2 回：神経系 末梢神経 第 3 回：神経系 末梢神経 第 4 回：神経系 中枢神経 第 5 回：神経系 中枢神経 第 6 回：神経系 中枢神経 第 7 回：神経系 中枢神経 第 8 回：内臓系 消化器系 第 9 回：内臓系 消化器系 第 10 回：内臓系 消化器系 第 11 回：内臓系 呼吸器系 泌尿生殖器系 第 12 回：内臓系 泌尿器系 生殖器系 内分泌系 第 13 回：感覚器系 第 14 回：感覚器系 第 15 回：定期試験 | | |
| 教科書 | 野村巖 編「標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 解剖学 第 5 版」 医学書院 6,000 円+税 | | |
| 参考書 | 渡辺正仁 監「PT・OT・STのための解剖学」廣川書店 6,380 円（税込） 坂井健雄 監「PT・OT ビジュアルテキスト専門基礎 解剖学」羊土社 6,160 円（税込） 小室正人、菊田彰夫、中村陽市 監「国家試験完全クリア やさしい解剖学」医歯薬出版 4,180 円（税込） | | |
| 成績評価の方法・基準 | 定期試験 持ち込みは不可。 | | |
| 授業の留意点・授業外の 学習活動など | 欠席しないこと。真摯（まじめ）に学んでいただきたい。 10 月に解剖学実習を日本大学医学部解剖実習室で行います。 | | |
| 教員紹介 | 島田和幸先生は死体解剖資格を持ち、解剖学では約 40 年の教育経験があります。 現在は、鹿児島大学名誉教授、東京医科大学・日本歯科大学・東京都立大学客員 教授、横浜市立大学・日本大学非常勤講師としてもご活躍されています。 本校が、日本大学医学部で予定している解剖学見学実習でお世話になります。 | | |

2026年度 多摩リハビリテーション学院専門学校

| 学科 | 履修対象 | 履修時期 | 授業の方法 |
|----------------------|--|------|------------|
| 作業療法学科 理学療法学科 | 1 学年 | 後期 | 講義 |
| 講義区分 | 授業科目名 | 担当教員 | 単位・時間数 |
| 専門基礎分野 | 病理学概論 | 山本 寛 | 2 単位・30 時間 |
| 授業の概要 (授業の目的) | 学習者は、疾病を起こす原因とそれぞれの疾病で生じる生体の変化やその経過、転機を総合的に理解するため、医学の基本的な学問である病理学を学習します。 | | |
| 授業の到達目標 (学生の行動目標) | 学習者は、疾病における形態と機能の変化を学ぶことにより、疾病の全体像、即ちその原因、経過、治療予後を総合的に理解できるようになります。また、疾病の本態を理解することにより、疾病の臨床事項を判断する能力を習得することができます。 | | |
| 授業計画 | 第1回 病理学の概要・病理検査 p5～ 第2回 病因論 (内因・外因)、p8～ 第3回 退行性病変・進行性病変 p17～ 第4回 代謝異常 p29～ 第5回 循環障害① (体液循環の機構・局所の循環障害) p40～ 第6回 循環障害② (全身の循環障害) p48～ 第7回 免疫① (概念・免疫担当細胞・免疫の成立) p53～ 第8回 免疫② (免疫反応がもたらす疾患・アレルギー) p59～ 第9回 免疫③ (免疫不全症候群・移植) p62～ 第10回 炎症 (炎症とは・炎症の種類) p66～ 第11回 感染 (症感染症とは・病原体の種類) p69～ 第12回 腫瘍① (腫瘍の概要) p76～ 第13回 腫瘍② (悪性腫瘍の進行度) p83～ 第14回 腫瘍③ (腫瘍発生の原因)・先天異常 p103～ 第15回 試験 | | |
| 教科書 | 教科書：「標準理学療法学・作業療法学」第5版 病理学 (医学書院) 本体:4600 円+税 プリント随時配布 | | |
| 参考書 | 特になし | | |
| 成績評価の方法・基準 | 定期試験 (100%) で評価します。試験には教科書の持ち込み不可です。 | | |
| 授業の留意点・授業外の学習活動など | 授業を大切にしてください。予習として、専門用語を正しく理解できるように講義前に教科書を熟読してください。復習として教科書を基本に配布プリントの重要項目をまとめ・整理し、また確認問題の誤文を正文に修正を行ってください。講義・解説の中での参考情報は、配布プリントに書き込むなど工夫すると、疾病への理解・興味が増すことと思います。日常生活の中で身近な疾病に関心を持って下さい。毎回その日の授業内容を確認し、反復学習することが大切です。 | | |
| 教員紹介 | 医療系大学での 40 年に及ぶ医療技術者教育の経験を活かし、学生が医療人として信頼される医療行為が行えるよう講義します。学習者が疾病の本態を理解し、患者様とのコミュニケーション能力を身に付けられることを願っています。 | | |

2026年度 多摩リハビリテーション学院専門学校

| 学科 | 履修対象 | 履修時期 | 授業の方法 |
|----------------------|---|-------|------------|
| 作業・理学療法学科 | 1 学年 | 後期 | 講義 |
| 講義区分 | 授業科目名 | 担当教員 | 単位・時間数 |
| 専門基礎科目 | 臨床心理学 | 藤枝 幹大 | 2 単位・30 時間 |
| 授業の概要 (授業の目的) | 心理臨床活動を通して、作業・理学・言語・介護にも共通する「臨床」の本質とは何かということを探求していく。 | | |
| 授業の到達目標 (学生の行動目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨床心理学がどのような学問かを説明できる。 ・ 各臨床心理学用語を説明できる。 ・ 臨床実践として患者の心理状態を推測し、適切な行動がとれる。 | | |
| 授業計画 | <p>授業は基本的に講義形式で進めていきますが、臨床実践的な要素を取り入れ、演習も行います。また、国家試験に出題されている用語は確実に覚えていきます。</p> <p>第1回 臨床という言葉の意味 臨床心理学の定義 第2回 臨床心理学の基本構造 第3回 臨床心理学の歴史 第4回 面接による心理アセスメント 第5回 観察による心理アセスメント 第6回 検査による心理アセスメント 第7回 検査による心理アセスメント (演習：検査・採点の実施) 第8回 精神分析 第9回 精神分析 第10回 認知行動療法 第11回 認知行動療法 第12回 森田療法 内観療法 第13回 クライエント中心療法 第14回 自律訓練法 交流分析など 第15回 定期試験</p> | | |
| 教科書 | 下山晴彦(編) 『よくわかる臨床心理学[改訂新版]』 ミネルヴァ書房 3,000 円＋税 | | |
| 参考書 | 加藤義明／中里至正／鳴澤實(編著) 『入門臨床心理学』 八千代出版 2,300 円＋税 野島一彦(編著)『臨床心理学への招待』 ミネルヴァ書房 2,500 円＋税 | | |
| 成績評価の方法・基準 | 定期試験 (100%) | | |
| 授業の留意点・授業外の学習活動など | 臨床実践的な演習を行いますので、その体験を今後の生活に有効活用していただければ幸いです。そのために、自分の心をよく見つめてください。 | | |
| 教員紹介 | 心理学修士の学位と臨床心理士と公認心理師の資格を持ち、心理学の様々な分野の講義歴は 30 年以上、心理臨床経験は 25 年以上になります。 | | |

2026年度 多摩リハビリテーション学院専門学校

| 学科 | 履修対象 | 履修時期 | 授業の方法 |
|----------------------|---|--------------|------------|
| 作業療法学科 理学療法学科 | 2 学年 | 前期 | 講義 |
| 講義区分 | 授業科目名 | 担当教員 | 単位・時間数 |
| 専門科目 | 内科学 | 林 宏拓 岩戸 徹 | 2 単位・30 時間 |
| 授業の概要 (授業の目的) | リハビリテーションの実施に際し、作業療法士が他の関係医療職とチームを組んで治療にあたるために必要な対象者の内科的情報を理解する。 | | |
| 授業の到達目標 (学生の行動目標) | 薬理学、循環器、呼吸器、代謝、がんなどの基本的事項を理解できる。 | | |
| 授業計画 | 第 1,2 回 薬理学 第 3,4 回 循環器疾患 第 5,6 回 呼吸器疾患 第 7,8 回 代謝性疾患 第 9,10 回 がん 第 10,11 回 肝胆膵疾患,自己免疫疾患 第 12,13 回 総まとめ 第 14,15 回 定期テスト,解説 | | |
| 教科書 | 適宜資料配布予定 | | |
| 参考書 | 標準理学療法学・作業療法学内科学第 5 版,医学書院,2024 6,600 円(税込) | | |
| 成績評価の方法・基準 | 小テスト(20%)、定期テスト(80%) | | |
| 授業の留意点・授業外の学習活動など | 解剖学、生理学、病理学などの科目がベースとなります。 | | |
| 教員紹介 | 聖パウロ病院にて医師として勤務している林宏拓先生と、理学療法士として東京都の急性期病院での実務経験をもつ PT の基幹教員が、学生に対し内科学について講義します。 | | |

2026年度 多摩リハビリテーション学院専門学校

| 学科 | 履修対象 | 履修時期 | 授業の方法 |
|-----------------------|--|-------|------------|
| 作業療法学科 理学療法学科 | 2 学年 | 通年 | 講義 |
| 講義区分 | 授業科目名 | 担当教員 | 単位・時間数 |
| 専門基礎分野 | 整形外科学 | 前田 浩行 | 2 単位・30 時間 |
| 授業の概要 (授業の目的) | 臨床での評価や治療をスムーズに進めることができるように、整形外科学に関する疾病・障害について、病理と症状、予防と治療・回復過程に関する知識を習得する。各授業毎に国家試験（練習問題）を行い、知識と理解を深める。 | | |
| 授業の到達目標 (学生の行動目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・各整形外科疾患についての症状・治療・リハビリテーションの内容を説明できる。 ・各整形外科疾患について装具治療を説明できる。 ・各整形外科疾患についての予防と検査方法を理解する。 ・リハビリテーションの中での整形外科学疾患の重要性を理解する。 | | |
| 授業計画 | <p>第 1 回～ 2 回・・・肩関節 肘関節</p> <p>第 3 回～ 4 回・・・外傷 骨折 手</p> <p>第 5 回～ 6 回・・・手 脊椎</p> <p>第 7 回～ 8 回・・・股関節</p> <p>第 9 回～10 回・・・膝関節 足関節と足趾</p> <p>第 11 回～12 回・・・ロコモ リハビリテーション・検査 その他（見逃してはいけない疾患）</p> <p>第 13 回～14 回・・・要点整理 復習</p> <p style="text-align: center;">第 15 回・・・定期試験 まとめ</p> | | |
| 教科書 | 標準整形外科学 15 版（医学書院）9,500 円＋税 | | |
| 参考書 | 標準理学療法学・作業療法学・整形外科学 第 4 版（医学書院）3,600 円＋税 | | |
| 成績評価の方法・基準 | 授業態度・定期試験にて評価 再試験もあり | | |
| 授業の留意点・授業外の 学習活動など | 授業中の私語は禁止。わからないことは積極的に質問してください。教科書は毎回持参してください。臨床では整形外科の患者に多く出会います。普段から装具、検査手技、治療など目で確かめて知識を深めておきましょう。大切な点は、教科書に直接書き込むなど工夫してください。 | | |
| 教員紹介 | 臨床経験豊富な整形外科専門医・リハビリテーション科専門医による日常の診療や実際の現場で役立つ知識を基礎からやさしくお話します。やってはいけないこと、見逃してはいけないこと、患者・家族との対応を学びます。 | | |

